

行政専用ChatGPT 「マサルくん」 ver3

2週間で5000回利用と
全国自治体に急拡大した
専用ChatGPT

東武トップツアーズ株式会社

Copyright© TOBU TOP TOURS CO., LTD. All Right Reserved.



TOBU
TOP
TOURS

2週間で5000回利用と全国自治体に急拡大した専用ChatGPT



The image shows a screenshot of the website for the administrative ChatGPT service, "Masaru-kun". The website has a green header with navigation links: ホーム (Home), 応援団員 (Supporter), 活動等 (Activities), and 入会・連絡先等 (Join/Contact). The main content area features a heading "行政DX専用ChatGPTを使ってみよう!" (Let's try the administrative DX dedicated ChatGPT!). Below this, there is a paragraph explaining that the service is based on AI (ChatGPT) and uses public data from various government ministries. It mentions that the service is currently being used by 115 municipalities and 85 companies, and is part of a project by the "Digital Field City National Concept Support Association". A YouTube video thumbnail is shown with the title "行政DX専用のAI ChatGPT「マサルくん」の... 行政DX専用のChatGPT「マサルくん」の使い方" (How to use the administrative DX dedicated ChatGPT "Masaru-kun"). A red arrow points to the video player, which has a "powered by embedly" watermark. To the right, a chat interface is displayed with the title "行政DXのAI秘書「マサルくん」" (AI Secretary "Masaru-kun" for administrative DX). The chat area shows a user input: "10文字以上の長文で、企画書、提案書、分析レポートなどを私に指示してください。" (Please give me instructions for a long text of more than 10 characters, such as a plan, proposal, or analysis report). Below this, there are three suggested prompts: "何を尋ねればいいのかかわからない?" (I don't know what to ask?), "EU 離脱後の英国の貿易動向レポートを作ってください。" (Please create a report on the trade trends in the UK after EU withdrawal.), and "富山市の農業デジタル化の中長期計画書を作ってください。" (Please create a medium and long-term plan for digital agriculture in Toyama City.). At the bottom of the chat interface, there is a green button that says "行政DX専用ChatGPT マサルくん 2" (Administrative DX dedicated ChatGPT Masaru-kun 2).

利用サイト <https://digital-supporter.net/dxgpt/>

ChatGPTとは、人間のように自然な対話形式でAIが答えるチャットサービスです。通常版は日本の行政情報が入っていないため、行政用としては使う事が難しいという課題がありました。

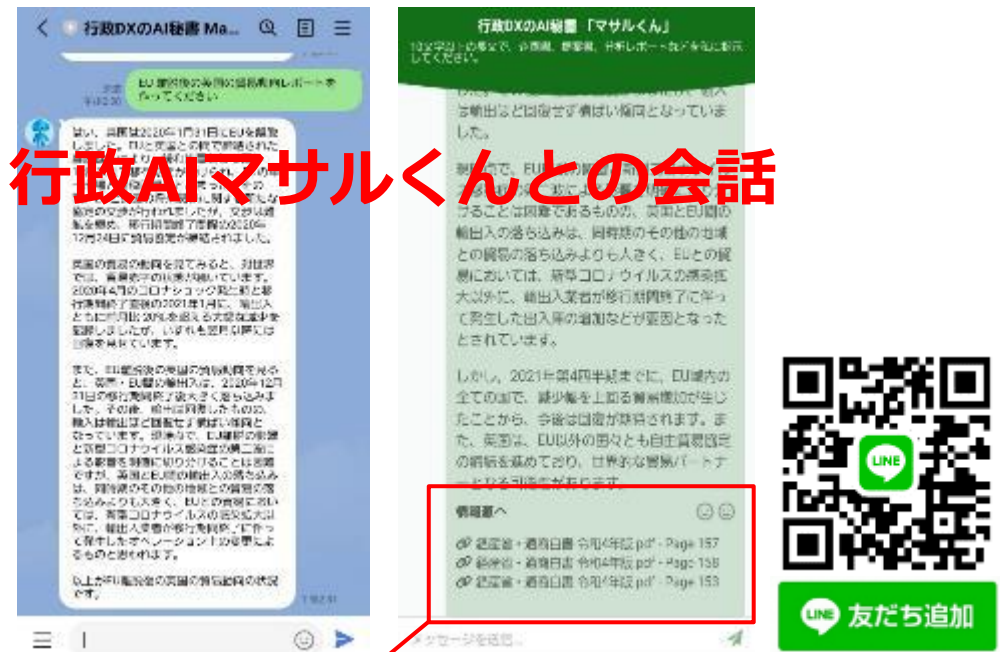


日本の行政DXをリードする**115自治体**などで構成する「デジタル田園都市国家構想応援団」として、行政情報を追加学習した専用のChatGPTをリリース。

自治体ChatGPTは、検討フェーズから実験的利用フェーズに一気に変化した。

行政AI「マサル」

行政AI「マサルくん」との会話



※PCで利用する場合は、情報源が表示されます。
LINEで利用する場合は、情報源は表示されません。

下記の情報を追加学習した特殊なChatGPT

発行元	公開資料名	ページ総数
総務省	自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画2.0	59
内閣官房	デジタル田園都市国家構想基本方針	187
総務省	総務省関連施策集(デジタル田園都市国家構想)	162
デジタル庁	デジタル社会の実現に向けた重点計画	140
農水省	デジタル社会の形成に向けた中長期計画	44
観光庁	観光DX推進による観光地の再生と高度化に向けて	50
経産省	通商白書令4年版	459
文科省	文部科学白書 令3年11章	10
総務省	AI利活用ガイドライン	84
法務省	デジタル・ガバメント中長期計画	3
厚労省	厚生労働白書	504
国交省	国土交通白書	374
内閣府	防災白書	393
総務省	地方財政白書	183
農水省	食料・農業・農村白書	392
自治体	デジタル田園「地域DX」メニューブック 自治体DXモデル123種	126
合計		3170

個人情報などに関するOpenAIの規約が理由で、全国の公務員の多くが、通常の無料版ではなく、公務員専用の有料API版ChatGPT「マサルくん」を利用した

ChatGPTの規約 OpenAI APIのData usage policy

“

Starting on March 1, 2023, we are making two changes to our data usage and retention policies: OpenAI will not use data submitted by customers via our API to train or improve our models, unless you explicitly decide to share your data with us for this purpose. You can opt-in to share data. Any data sent through the API will be retained for abuse and misuse monitoring purposes for a maximum of 30 days, after which it will be deleted (unless otherwise required by law).

”

有料のAPIを経由して顧客から送られたデータは、特別にオプトインしない限り、学習に利用しない

ChatGPTの規約を読む限り、私たち公務員に関しては、有料版のAPIを使った方が安心だね





東京ビッグサイトのAI・人工知能EXPO

デジタル田園都市国家構想応援団の行政専用ChatGPT「マサルくん」を開発し、東京都子供政策連携室のAI相談事業の事業総括責任者でもある

村井宗明氏（東武トップツアーズCDO）が自治体のChatGPTの利用状況をプレゼン。

また、生成AI研究会、NECのデジタルヒューマン協議会等、様々な会合で話題になり、業界での講演などを行っています。

【自治体のAI活用の現状】

- ・ ChatGPTが話題になり、各地域の自治体でAIの実証試験が始まる
- ・ 本格的なAI入札は、東京都の子供・子育て家庭の孤立孤独を予防するための相談システムのみ。こちらは、全国のAI企業・IT企業の中から、東京都技術審査委員会は「東武トップツアー株式会社」を採択した。

【マサルくん】

デジ田応援団 1 1 5 自治体用に国の各官公庁データを追加学習したものをリリース。利用状況は好評。しかし、地方自治体のデータがはいつていない。

【今後のフェーズ】

自治体でのさらなる活用を目指して、自治体のホームページなどからのデータを入れての実証実験を進めたい。

パターン1、自治体内部での活用実験

パターン2、一部の市民を巻き込んだ活用実験